

戸田市立小学校外国語活動におけるCAN-DOリスト形式による活動到達目標

戸田市英語教育研究推進委員会

【戸田市が育てたい児童生徒像】

- ①誰とも主体的に関わろうとする子供
- ②互いに気持ちや考えを英語で伝え合う子供
- ③豊かな国際性を身に付けた子供

【外国語活動の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【外国語の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【戸田市の英語活動における評価の観点とその趣旨及び評価規準】

	評価の観点	評価の観点の趣旨	評価規準
A	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度(資質)	英語活動を楽しむとともに、積極的に外国の人や友だち等とかわかり、コミュニケーションを図ろうとする。	①積極的に英語活動に取り組んでいる。 ②外国の人や友だち等と積極的にコミュニケーションを図っている。 ③様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。
B	コミュニケーション能力	簡単な英語を聞いたり、話したりして、互いの気持ちや考えを伝え合う。	①相手が伝えようとしていることを概ね理解し、反応している。 ②自分の気持ちや考えを概ね伝えている。 ③簡単な英語によるコミュニケーションの仕方を概ね身に付けている。
C	言語や文化についての体験的理解・発信	日本と外国の言葉や文化に関心を持ち、その特徴に気付いたり、発信したりする。	①外国の人や言葉に興味をもっている。 ②外国の言語や文化に触れ、日本の文化との違いに興味をもち、その違いを概ね理解している。 ③外国の人に対して、日本の文化を発信している。

【CAN-DOリスト形式による活動到達目標】

	低学年修了時	中学年(3年生)修了時	中学年(4年生)修了時	高学年(5年生)修了時	卒業時
話すこと Speaking やり取り	○基本的な表現を用いてあいさつをしたり、名前を言ったりすることができる。 ○自分の好きなもの(動物・数字・色など)を相手の目を見て話すことができる。	○基本的な表現を用いてあいさつをしたり、感謝の気持ちを表現したりできる。また、簡単な指示をしたり、それらに応じたりする。 ○自分の好きなことや身の回りの物について動作を交えて伝え合うことができる。 ○動作などを使って相手をほめたり相槌を打ったりすることができる。	○自分の好きなことや身の回りの物について動作を交えて伝え合うことができる。 ○サポートを受け、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、質問したり質問に答えたりする。 ○動作などを使って相手をほめたり相槌を打ったりすることができる。	○自分や相手のこと及び身の回りの事柄について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問したりすることができる。 ○相手の言っていることを聞いて、聞き直したり、繰り返したりすることができる。	○自分や相手のこと及び身の回りの事柄について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問し合ったりすることができる。 ○基本的な表現を用いて道案内や注文をしたり、それらに応じたりすることができる。 ○相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりしてコミュニケーションを円滑にすることができる。
話すこと Speaking 発表		○人前で実物等を見せながら、教室にある物や自分の好きなものやことをはっきりと大きな声で伝えることができる。	○人前で実物等を見せながら、物のある場所、自分の好きなものやことをはっきりと大きな声で伝えることができる。	○日常生活に関する身近で簡単な事柄について、基本的な表現を用いて話すことができる。	○自分のことや、身近で簡単な事柄について、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを基本的な表現を用いて話すことができる。
聞くこと Listening	○相手の話を目を見て聞くことができる。	○ゆっくりはっきりと話された際に教室にある物、相手の好きな食べ物やスポーツなどを聞いて、大まかに理解できる。	○ゆっくりはっきりと話された際に物のある場所、相手の好きな食べ物やスポーツなどを聞いて、大まかに理解できる。 ○文字の読み方が発音されるのを聞いてどの文字であるか理解する。	○ゆっくりはっきりと話されれば、身近な事柄について簡単な語句を聞き取るとともに、基本的で具体的な情報を聞き取ることができる。	○ゆっくりはっきりと話されれば、相手の伝えたいことを想像しながら、短い話の概要を大まかに理解することができる。
読むこと Reading				○身の回りの活字で表現された文字に気付き、その読み方を発音することができる。	○音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。
書くこと Writing				○大文字、小文字を活字で書くことができる。また、語順を意識して音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を書き写すことができる。	○自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

☆I canリストは、児童の自己評価に使用します。学年修了時まで達成することを目標としています。

☆CAN-DOリスト指導者評価用ファイルは、指導者が評価を記録する際に使用します。当該学年修了時に達成できるように指導します。